



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



CHINO



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

2017~2018年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

茅野ロータリークラブ活動方針

「ロータリーの奉仕の進化と深化を楽しもう」

創立1981. 1. 26

2017 - 2018 会長 高見 恭司 幹事 勅使川原 一幸

Vol.19 1725 2017.12.13

高見会長挨拶

みなさんこんにちは
前回お話ししました、松川ロータリークラブの訪問時に、北原直前会長が「いいものには底力ある、茅野クラブは56名も会員がいれば楽しそうだし、いいものがあるから、会員が増加する。」と言われ、気に入りまして、調べてみました。



この「いいものには底力がある」の言葉はサントリーの創業者、鳥井信治郎さんの一代、挑戦記作家の伊集院静氏が日本経済新聞で連載して一躍、有名になった言葉です。

人づてによると、前総理の小泉純一郎氏はこの一代、挑戦記の物語にたく感動し、この話をする時涙を流しながら話すとされています。サントリーの社訓は「とにかく、やってみなさい」であります。この言葉通り、鳥井信治郎さんは、日本産ウイスキーに人生を全力投球した生涯でした。

今、世界での日本産ウイスキーの品質は折り紙つきでプレミアムがつくほどあります。これも彼の創業精神の賜物であり、その小説の中に「いいものには底力がある」また、「品質も人も底力や」という言葉が出てきます。我が茅野クラブも、「本物の人間には底力はついてくる」クラブをさらに、目指したいと思いましたが、そんな思いを皆さんに伝えまして、会長挨拶と致します。ご清聴ありがとうございました。

※別紙幹事報告書

会長より会報の配布についての説明

先ほど幹事より、第7回の理事会報告がありました。その中で、会報について「会員への配布方法の希望をとる」と報告がありました。そのことについて、説明させていただきます。

現在、会報は例会場の受付の机においてあり、各自が持ち帰っていますが、今後は、会員から希望をとります。一つ目の希望は、茅野ロータリークラブのホームページにアップしていますので、そちらを見るので、印刷した会報紙はいらない。もうひとつの希望は、現状通り、印刷した会報がほしいので、印刷した会報誌を会員の方にお渡しする方法です。

どちらがよいか、会員各自から希望をとりますので、ご協力をお願いします。この配布方法をする事により、会報紙の印刷費の削減と現在廃棄処分している会報紙がなくなるようになります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

クラブ協議会

○国際奉仕委員会 長崎副委員長

韓国の釜山マリンシティーロータリークラブと交流クラブとして交流していくことになりました。

○ロータリー財団・米山奨学金委員会 小海委員長



米山奨学金が39名、69万円。財団が29名、29万円。ご協力ありがとうございました。

当クラブが第20回目の米山功労クラブとして表彰されました。

個人では、第3回のマルチプルとして宮坂貴代治会員が、第2回で五味徳雄会員が表彰されました。

卓話

「ベトナムについて」

五味光亮会員



今年海外へ12回行きました。直近で行ったベトナムについての話をしてみたい。ベトナムは、若い人が多くて活気があります。日本に研修生として来ている人も多い。子供たちの教育も熱心に行われていて、「いずみ塾」も現地で見かけます。ベトナムの若い人はとても脚が弱い。それは、子育ての段階で、保育園や学校に全てバイクで送迎をしているので、子供たちが歩くということが少ないからかのような。ベトナムには、あと15年ぐらいすると高齢化社会がやってきます。日本のように諸制度が整備されていないベトナムでは高齢化社会の到来により生活への不安が非常に大きいようです。

ベトナムの人口は8000万人を超えています。一番の産業は、縫製産業で、その活性化についての指導に何回も行っているわけです。従来は、その製品のほとんどを中国に輸出していたわけですが、先進国に販売するにあたり品質の向上が不可欠で、中国製の機械では限界があるので日本製の機械により高度な加工をして先進国に販売することが必要であると指導してきました。

世界の中でもベトナムは日本と非常に仲の良い国です。最近の情勢では、新幹線も原発も中止になりました。それは、中国のスプラトリー諸島への侵攻に対して軍備を増強する必要があることが原因となっています。また、国営工場を民間に売却することにより資金を調達しようとしています。国としては、少し貧乏な状態となっていて、昨年は工業メッセに国費で20人位派遣されていましたが、今年は国費を使えないので一人も来ませんでした。

こうした状況にベトナムが置かれていることを理解して頂きたい。共産圏でありながら、ベトナムが発展することを願って政府の方々と一緒になってお手伝いをするために度々行っているわけです。

卓話

「マルエーの歩みと私の生い立ち」

新会員
杉本浩美会員



入会を勧められてどんな会かも分からずに入会しましたが、温かく迎えて頂き、また出合いもあり入会して良かったと思っています。

「マルエー」は、昭和36年創業、父母のお互いの頭文字「A」をとって丸く栄えるようにと「マルエー」と名付けたそうです。

私は、小学校時代は地区の少年野球チームで、男の子と一緒に野球を楽しみ、小学校、中学校、高校時代はバレーボールに興味をもって、朝練と放課後遅くまで練習し、将来体育の先生になることが夢でした。

中学生の時に、母から「売れそうな服を選んでごらんさい」と言われ、自分の選んだ服が売れたときの喜びをこの頃に感じました。

高校卒業後、体育の先生になるか、家業を継ぐか、バレーボールをやるか迷いましたが、結局昼間は仕事をし、夜はバレーボールの練習をする人生を選びました。その後、バレーボールにも体力の限界を感じ、家業を継ぐべく商売の学びの道へ進みました。

昭和58年、事業協同組合を結成し、メリーパークを開業し、昭和60年に家業に入りました。その後、家業の世代交代を父に持ちかけましたが、父も現役バリバリでしたので喧嘩別れとなり、しばらく店を離れることになりました。

離れた後は、大型免許、大型特殊の免許をとって「ダンブの運転手」をしました。平成13年には、火災予防活動や消防活動に貢献したいと女性消防団に入団しました。今考えると「ダンブ」も「女性消防団」も人生の中で良い経験になったと思っています。

平成17年に世代交代をし、今まで喧嘩ばかりしていた父と毎日楽しく過ごすようになりました。平成19年5月13日、父が74歳で亡くなり、メリーパーク専門店も後継者問題や廃業で店舗数も減少し、2店舗となり事業協同組合も維持できず解散しました。今現在は、新テナントが12店舗入り、メリーパーク全体が活気づくよう努力しています。

父からの「節目節目にはちゃんと恩返ししろよ」との教えに従い、平成25年に宮川地区と金沢地区の65歳以上の方へ毎週月曜日と火曜日にメリーパークからの買物無料送迎バスを運行しています。これからも楽しい企画で努力していきたいと思っています。また、大好きなバレーボールは、家庭婦人の全国大会にも参加させて頂いて、今現在も楽しんでます。

今回、茅野ロータリークラブに入会し、人生経験豊富な大先輩の皆様と新たな出会いができたことに感謝し、これからもご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

ニコニコBOX

人数
25人
金額
42,000円

- 高見恭司会長 会員卓話よろしくお願いします。
- 面高信平会員 先週九州へ行ってきました。母の1年祭をしてきました。九住山登山は大雪で断念しました。
- 五味徳雄会員 寒天製造無事始まりました。天気は順調です。このまま一冬行きたいです。
- 杉本浩美会員 12月お誕生日プレゼントありがとうございました。これからもよろしく。

出席報告

会員数 56名
出席 44名
出席率 79%